



公立大学法人  
国際教養大学

平成 26 年度文部科学省スーパーグローバル大学等事業スーパーグローバル大学創成支援

TOP GLOBAL UNIVERSITY PROJECT

# 日本発ワールドクラスリベラルアーツカレッジ構想

～10年後の国際教養大学へ～

## 国際教養大学の沿革

- |              |            |                             |
|--------------|------------|-----------------------------|
| <b>2004年</b> | <b>4月</b>  | 国際教養大学開学 第1回入学式 (148名)      |
|              | <b>9月</b>  | 初の秋入学 (正規生2名) 初の留学生受入 (22名) |
| <b>2005年</b> | <b>9月</b>  | 留学派遣 第一号 出発                 |
| <b>2006年</b> | <b>11月</b> | 提携校数50校へ到達：22か国・地域          |
| <b>2008年</b> | <b>3月</b>  | ギャップイヤー入試実施開始               |
|              |            | 第1回卒業式 (64名)                |
|              | <b>8月</b>  | 初の8月卒業 (31名)                |
|              | <b>9月</b>  | 専門職大学院 開講                   |
| <b>2010年</b> | <b>2月</b>  | 提携校数100校へ到達：31か国・地域         |
| <b>2013年</b> | <b>7月</b>  | 提携校数150校へ到達：41か国・地域         |
| <b>2014年</b> | <b>3月</b>  | 卒業生数が1,000人を超える<br>長期ビジョン策定 |
|              | <b>9月</b>  | SGU採択                       |

## 構想全体概念図

10年後の国際教養大学 (AIU)  
日本発ワールドクラスリベラルアーツカレッジへの進化  
日本に軸足を据え、世界で活躍する人材育成

### ワールドクラスになるための4つの教育環境整備

これからの取組

これからの取組1  
24時間リベラルアーツ教育の推進

これからの取組2  
世界標準カリキュラムの充実

これからの取組3  
日本の英語教育を改革

これからの取組4  
国際ベンチマーキングの実施

これまでの取組

大学の世界展開力強化事業  
(応用力、実践力強化)

グローバル人材育成推進事業  
(学修・教育力強化)

全て英語の講義、1年間の海外留学必修、GPA制度と厳格な留学単位互換管理、少人数教育、秋入学、1年生は全寮生活、365日・24時間図書館

## これからの取組1 | 24時間リベラルアーツ教育の推進

### 貴重な4年間、学びあう文化を体化し成長

#### 特性

- ・ 全学生の90%がキャンパスに居住
- ・ 学生宿舎での留学生との混住

#### 課題

- ・ 「生活寮」から「教育寮」へ、寮は共に学修し成長するコミュニティ
- ・ 学生が主役、協働学修空間の創造と充実

### テーマ別ハウス群導入

- ・ 「自分の自分による自分のための学修テーマ」で、勉学も生活も
- ・ 留学生と協働生活・協働プロジェクトの実施
- ・ 知のサポート、学内外の講師陣による講義と支援
- ・ 「教育寮」、リーダーシップ訓練の絶好の場



## これからの取組2 | 世界標準カリキュラムの充実

### 世界標準に向けた科目の調整・整備

#### 特性

- ・全ての授業を英語で開講
- ・留学生と机を並べて切磋琢磨
- ・全員1年間の海外留学必修

#### 課題

- ・海外提携大学との  
単位互換可能な講義の充実

### 国際標準化による科目群のシームレス化

#### ①英語で日本を勉強する日本学修センター

- ・日本を学びたい留学生が、英語で日本研究
- ・学生は日本を世界に発信するアンバサダー

#### ②MOOCs導入による講義の国際標準化

- ・海外トップスクールの講義を本学で提供

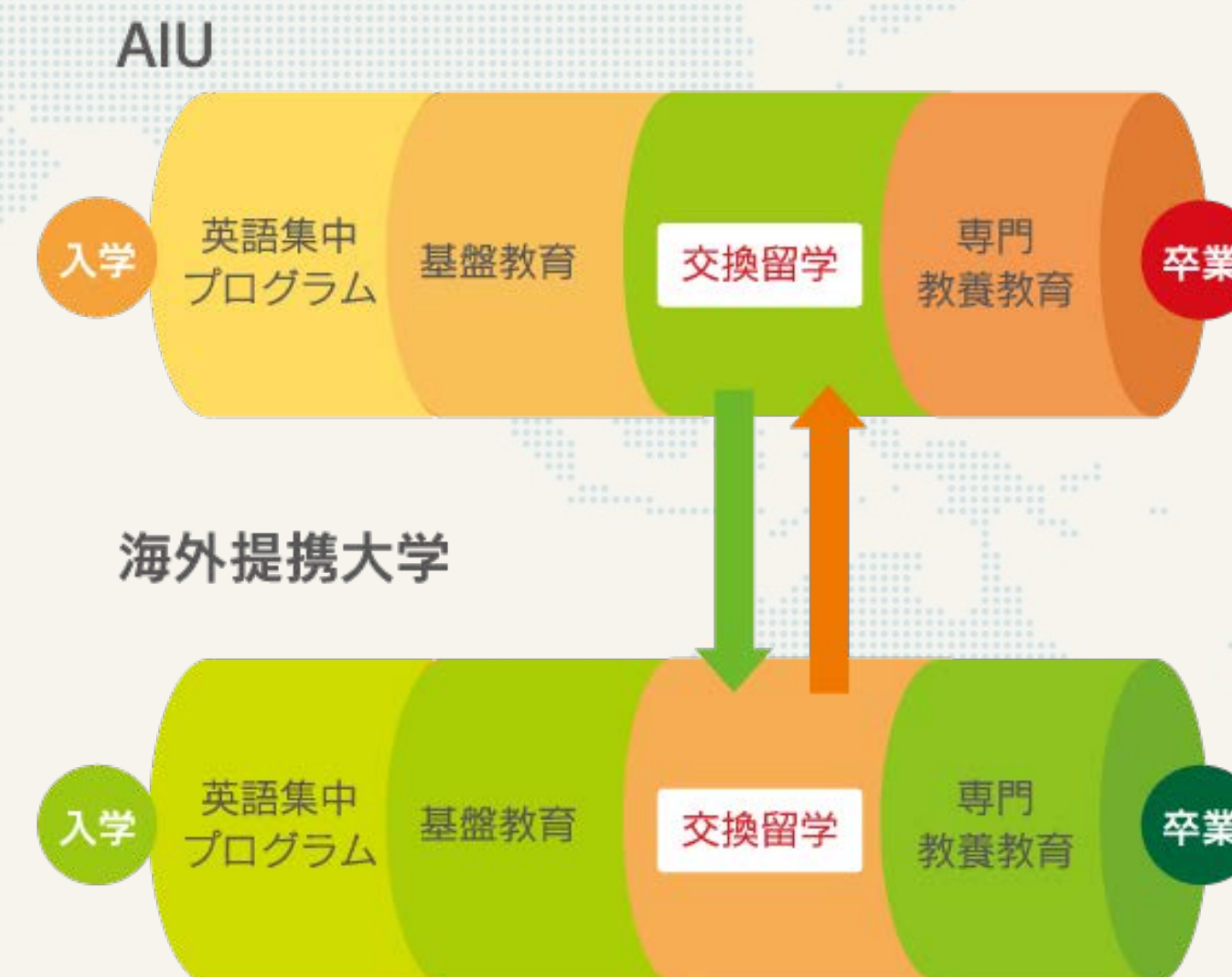
#### ③国際協働PBL

- ・ASEAN諸国提携校とのPBLの開講

#### ④パートナーズプログラム

- ・海外提携校との協働プログラムの実施

#### デュアルアセンブリーライン カリキュラム



## これからの取組3 | 日本の英語教育を改革

### AIU英語教育の豊富な経験を社会に還元

#### 特性

- ・全ての授業を英語で開講
- ・1年間の海外留学の義務化
- ・卒業時TOEFL600以上が約40%

#### 課題

- ・県内外からの英語教育支援要請への積極対応

### 日本人学生・留学生主導による イングリッシュビレッジの開講

- ・学生の企画・運営でイングリッシュビレッジ開講
- ・小中高生に「英語で英語を教えよう」
- ・学外へ、社会へ、AIUのグローバルな環境を発信

### 小中高校教員への英語教授法指導 (ティーチャーズセミナー)

- ・小中高校英語教員へ、「英語で英語を教える方法」を伝授

### 「あきた発グローバル人材育 プロジェクト」(秋田県)との連携

- ・AIUを拠点に、全県的グローバル人材育成を推進
- ・日本における先験的英語教育モデルの構築



## これからの取組4 | 国際ベンチマーキングの実施

### AIU教育を世界の中で相対的・客観的に分析

#### 特性

- ・ AIU設立時からグローバル化対応
- ・ 全ての授業を英語で開講
- ・ GPA、コースナンバリング、  
秋入学制度等の導入

#### 課題

- ・ 世界におけるAIUの  
立ち位置を相対化・客観化

### 教育の取組を海外リベラルアーツ大学と比較・検証

- ・ ウィリアム・アンド・メアリー大学（米国）、ジョージタウン大学（米国）、ディキンソン大学（米国）とのベンチマーキングの実施
- ・ カリキュラム、教育方法、学生支援などを検証
- ・ 米国Collegiate Learning Assessment (CLA) 導入による学生の成長を日米比較
- ・ AIUプロフェッショナルリズム、教職員能力の強化

